

6月15日(木)

5年 (教科) 総合的な学習の時間・家庭科

単元(題材)「地域の方の話を聞きこう」

～白玉粉を生産・販売されている方に話を聞いて体験しよう～

(1) 目的：地域で400年近い歴史を持ち、この地域で商売されている方のお話を聞くとともに、5年生が取り組む稲作学習の方向付けとなる体験をする。

(2) 授業の様子(GTの思いなど)

350年の歴史を受け継ぎ、新たな商品を開発し続けることで、これまでの白玉粉だけではなく新しい商品をお客様に提供するという挑戦を繰り返している。

これまでの挑戦では、先代では実現しなかった冷凍技術を開発することができ、白玉粉の新たな保存方法や食べ方を発表することができた。失敗することも多いが、「お客様のために」という気持ちで、めげることなく取り組んでいる。



牛嶋さん

(3) 学習中の様子(写真)

「江戸時代にもち米からつくった水あめを商品化したことをルーツとして、お店を展開。13代目が保存食としての『白玉粉』をはじめ、年間を通して食することができるようになった。14代目(現在)がさらに冷凍技術を開発し、白玉粉の食文化が飛躍的に広まった。」というGTの話を聞いた。

その後、実際に白玉粉を全員で作った。商品として提供されている「本物」の食材を準備していただき、さらに、おいしく作るコツをポイントポイントで教えていただき、本物の味を味わうことができた。

(4) 児童の感想やつぶやきなど

- ・実際に白玉団子を作ってみて、こんなに大変だとは思いませんでした。白玉粉をこねるのが大変でした。
- ・教えてもらいながら作った白玉は、とてもおいしかったです。家に帰ってから家族で作ってみたいと思いました。
- ・とても長い歴史があるのに驚きました。あきらめずに挑戦し続けておられることがすごいです。

